

令和4年度 県内事例調査 結果概要

令和5年(2023年)2月

| 調査地 | 名称 | 調査日 | 開始年 | 設置主体 | 運営主体 | 背景・契機 | 行政の関与度 | 類型 | 現状 | 特記事項 (キーワード等) |
|------|-----------------------|--------------|--|------|--|--|--|-----------------|---|---------------------------|
| 小田原市 | 小田原市 街かど博物館 | 令和5年1月17日(火) | 平成10年(1998年) 度:3館でスタート | 小田原市 | 小田原市街かど博物館連絡協議会(認定館館長、市商業振興課が事務局) | ・平成一桁台からの地域振興の機運を受けて、平成8年(1996年)5月の「街かど博物館に関する企画レポート」が作成され、具体的な庁内県都が開始された。 | ・市はガイドマップ製作費、スタンプラリー経費及び協議会負担金(計約150万)を支出するが、運営は協議会の主体性に任されている。 | 地域(民間)主動・行政サポート | ・ガイドマップ更新、スタンプラリー、ツアー、ファンクラブ事業が定着しているが、マンネリ感は否めない。 | ・館長(店主)たちの熱い思い |
| 平塚市 | 金目 エコミュージアム | 令和5年1月18日(火) | 平成19年(2007年)3月:第1回金目桜まつり開催 | 平塚市 | 金目エコミュージアム(平成19年(2007年)6月発足の「エコミュージアム金目まるごと博物館推進委員会」を改組) | ・平成8年(1996年)度頃からの地域再発見事業の展開 ・平成17年(2005年)度に「金目エコ・ミュージアム」の職員提案を契機に庁内検討開始 | ・平成17年度の職員提案から平成18年度までの庁内検討の後は、市は委託料の支出と技術的支援のみ | 地域(民間)主動 | ・設置後15年以上を経過し、金目エコミュージアムによる主体的運営が定着 | ・地域で楽しむ ・行政は口を出さない |
| 横須賀市 | よこすか ルートミュージアム | 令和5年1月19日(火) | 令和3年(2021年)5月:ティポディエ邸オープン | 横須賀市 | 横須賀市(よこすか集客促進・魅力発信実行委員会＝市・商工会議所・観光協会・京急) | ・平成29年(2017年)に上地市長(議員時代に2回にわたって同邸再建決議を主導)のティポディエ邸再建決断 | ほぼ100% | 行政主導・主動 | ・設置後2年足らずの期間で、様々な取り組みを市が主体となって展開 | ・関連部局を(事業・予算)束ねる ・走る |
| 茅ヶ崎市 | 茅ヶ崎市ふるさと まるごと発見博物館 | 令和5年1月31日(火) | 平成15年(2003年):「ちがさき丸ごと博物館事業推進要綱」の施行をもって開始 | 茅ヶ崎市 | 茅ヶ崎市(事業の主体は、「ちがさき丸ごとふるさと発見の会」、「ちがさき丸ごと博物館友の会」) | 平成10年代頃から、エコミュージアムの概念を取り入れた地域振興が各自治体で取り入れられ始め、平成13年(2001)に市議会での質問を契機として事業の検討を開始。 | ・全体の舵取りは茅ヶ崎市教育委員会。事業の運営等についてはアクションプロジェクトメンバー(市民公募)、市民団体(丸ごと博物館事業から生まれた任意団体)によって実施。予算は行政側で確保。 | 地域(民間)主動・行政サポート | 設置後、20年が経過し、事業を通じて発足した、市民団体が運営の一端を担っており、企画展、街歩きガイドなどで主体的に事業を展開している。 | ・参加型から自立型へ ・行政と市民団体の連携 |